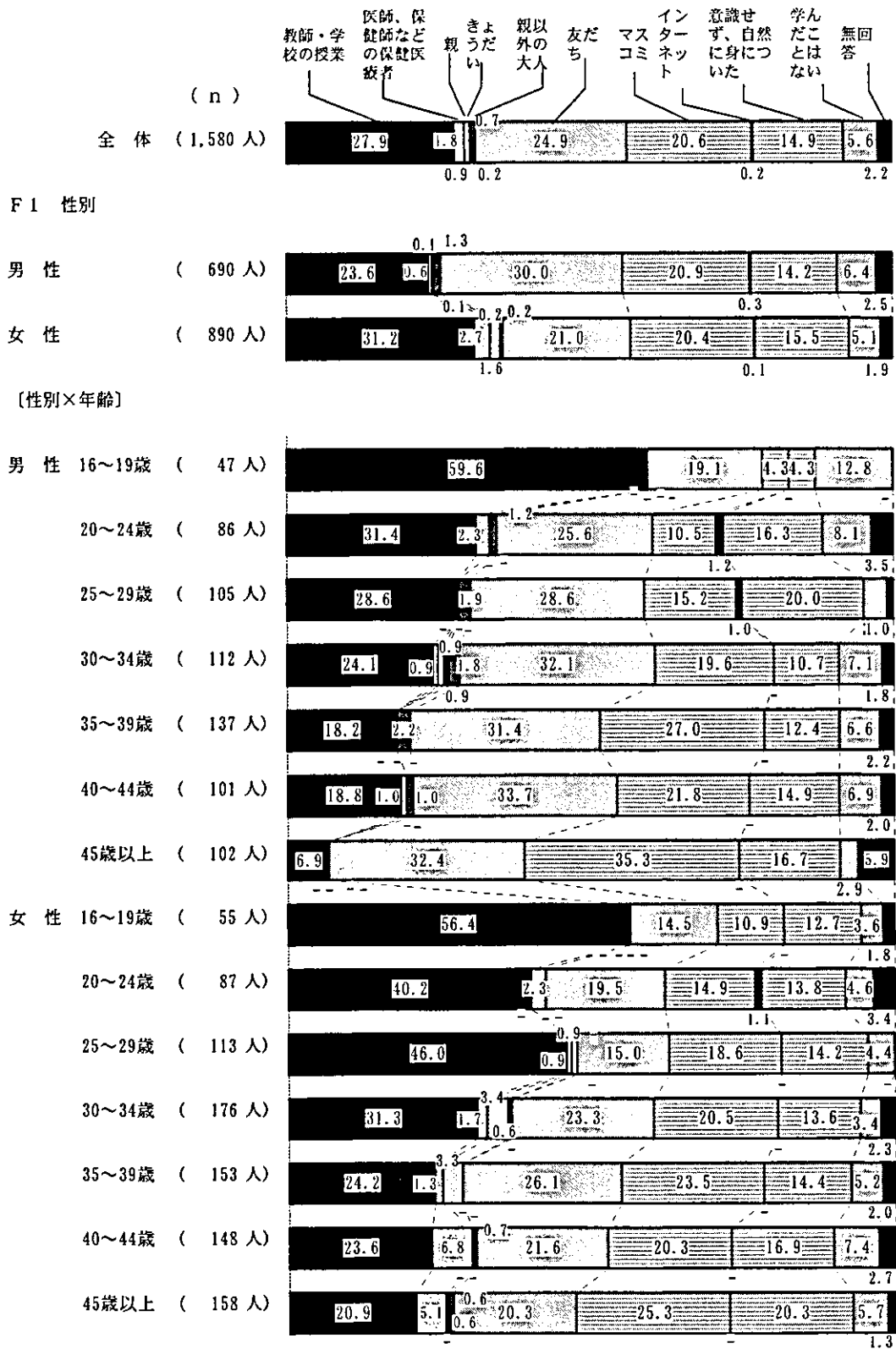
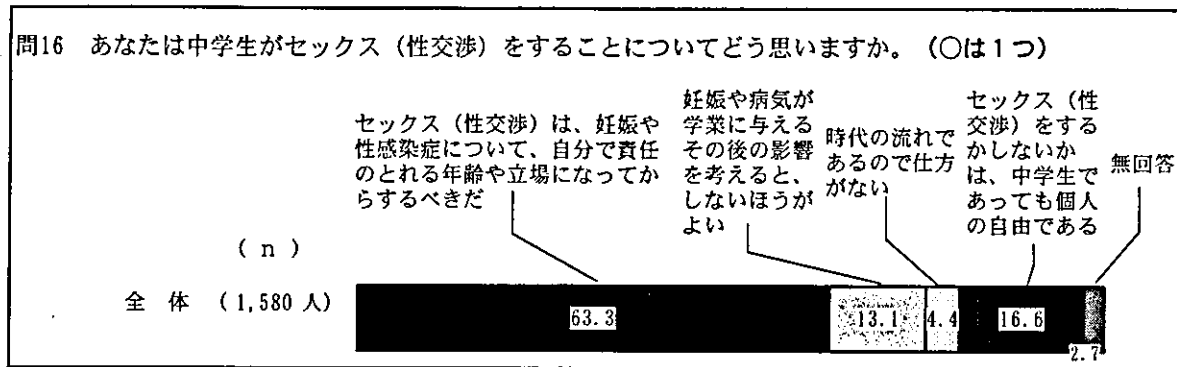


図3-1-1 避妊方法の主な情報源（性別、性・年齢別）



## 2 中学生のセックス（性交渉）について



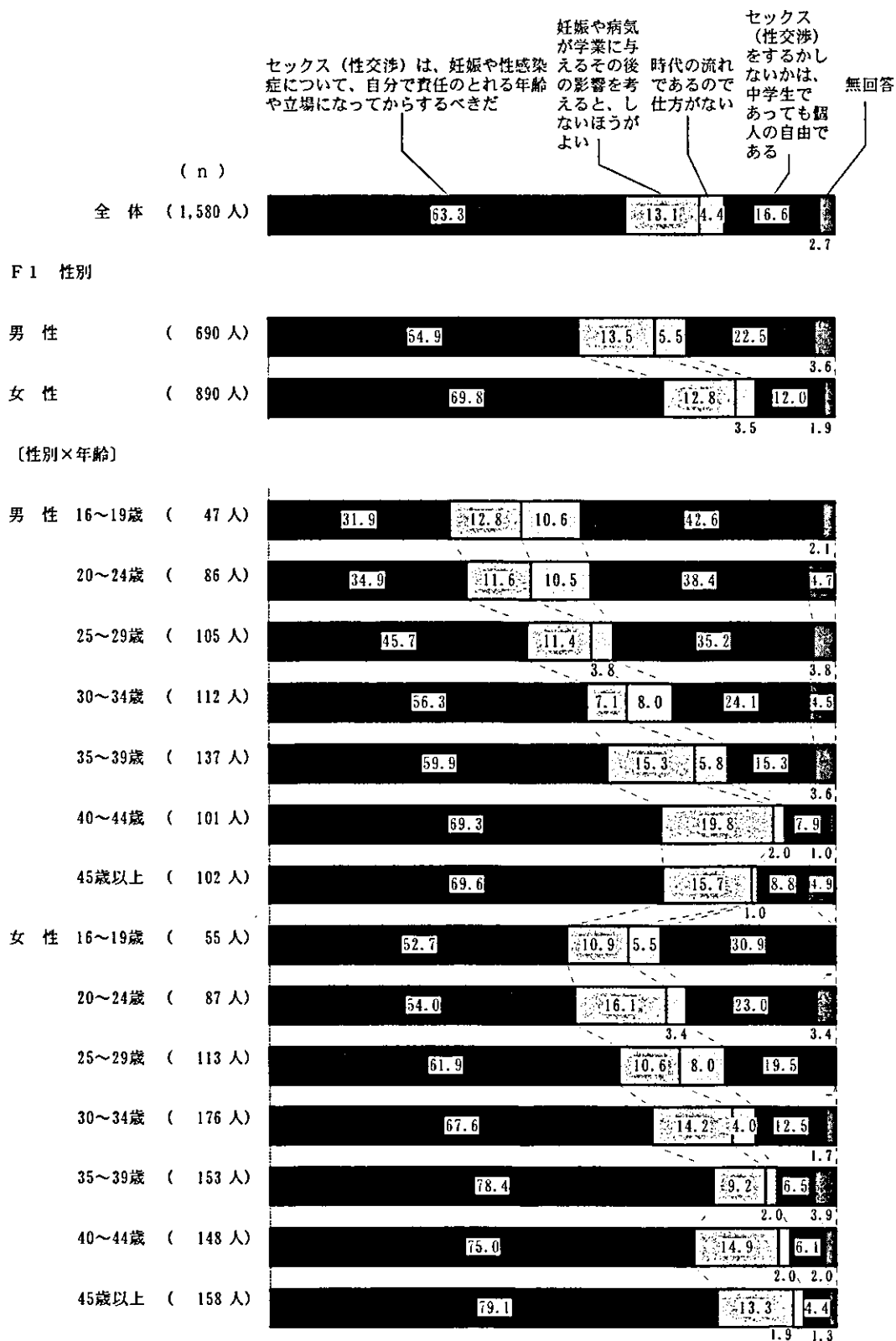
中学生がセックス（性交渉）をすることについての意識を聞いたところ、「セックス（性交渉）は、妊娠や性感染症について、自分で責任のとれる年齢や立場になってからすべきだ」（63.3%）という者が6割強を占め、「妊娠や病気が学業に与えるその後の影響を考えると、しないほうがよい」（13.1%）という者を合わせると、4人に3人以上は中学生のセックス（性交渉）は望ましくないと考えている。

一方、「セックス（性交渉）をすることは、中学生であっても個人の自由である」（16.6%）という者は2割弱で、「時代の流れであるので仕方がない」という者は4.4%である。

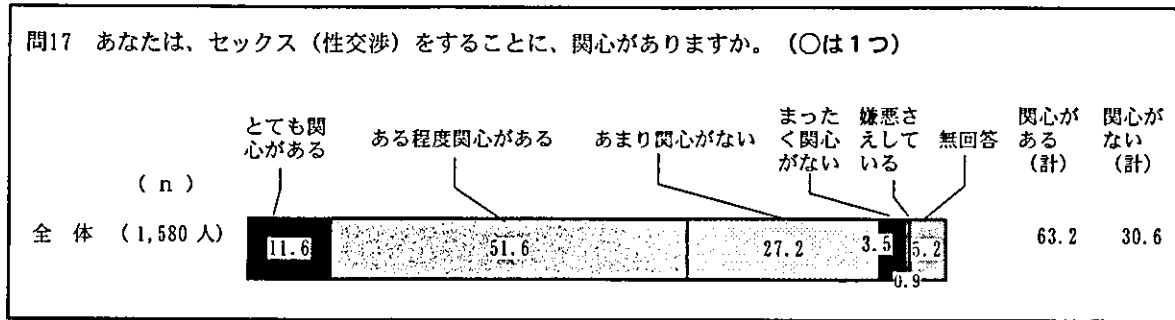
性別にみると（図3-2-1）、「自分で責任のとれる年齢や立場になってからすべきだ」（男性 54.9%、女性 69.8%）という者は女性では7割を占め、男性を15ポイント上回っている。これに対して、「中学生であっても個人の自由である」（同 22.5%、12.0%）という者は男性で2割強と女性を11ポイント上回っている。

性・年齢別にみると（図3-2-1）、「自分で責任のとれる年齢や立場になってからすべきだ」という者は男女とも年齢の高い層ほど多く、特に女性は35歳以上になると8割近くになっている。一方、「中学生であっても個人の自由である」という者は男女とも若年層ほど多くなっており、男性の20～24歳（38.4%）では4割近い。

図3-2-1 中学生のセックス（性交渉）について（性別、性・年齢別）



### 3 セックス（性交渉）することへの関心の有無

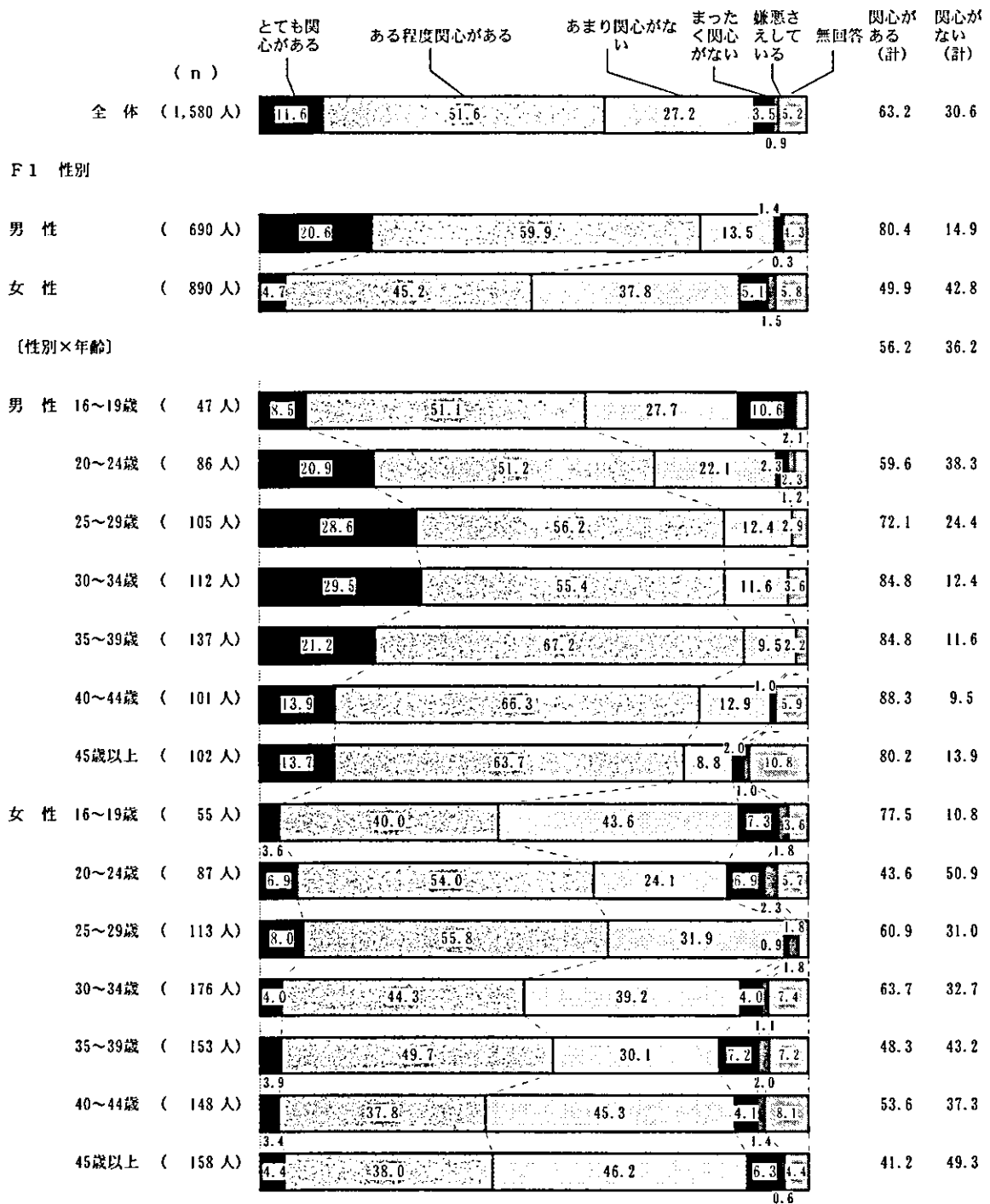


セックス（性交渉）をすることへの関心の有無を聞いたところ、「とても関心がある」（11.6%）という者は1割強で、「ある程度関心がある」者(51.6%)を合わせると、6割強はセックスをすることに『関心がある』と答えている。

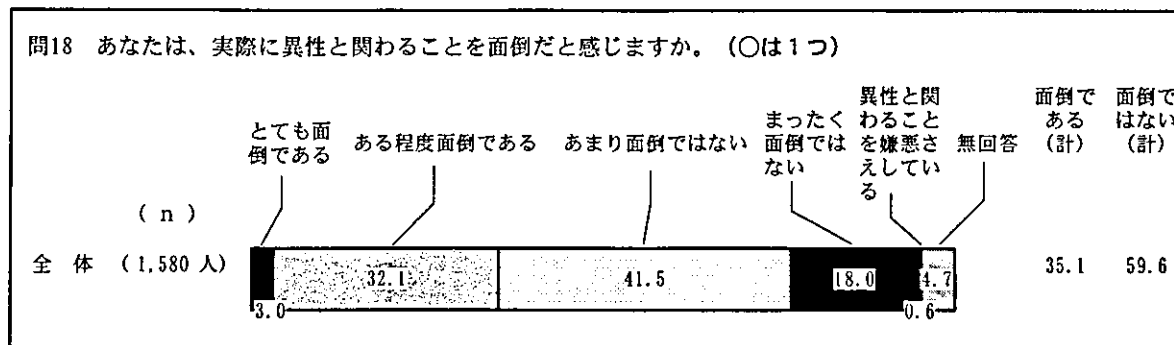
性別にみると（図3-3-1）、セックスをすることに「とても関心がある」（男性 20.6%、女性 4.7%）という者は男性で2割と女性を16ポイント上回り、「ある程度関心がある」（同 59.9%、45.2%）という者を合わせたセックスに『関心がある』者は男性8割、女性5割となっている。

性・年齢別にみると（図3-3-1）、セックスをすることに「とても関心がある」という者は男性の25～34歳でほぼ3割と他の性・年齢層より多く、「ある程度関心がある」という者を合わせた『関心がある』という者は男性の25～44歳までの8割以上である。これに対して、女性では年齢が高くなるほど「あまり関心がない」もしくは「まったく関心がない」と答えた『関心がない』層が多くなり、40歳以上では5割前後となっている。

図3-3-1 セックス（性交渉）することへの関心の有無（性別、性・年齢別）



#### 4 異性と関わることの意識

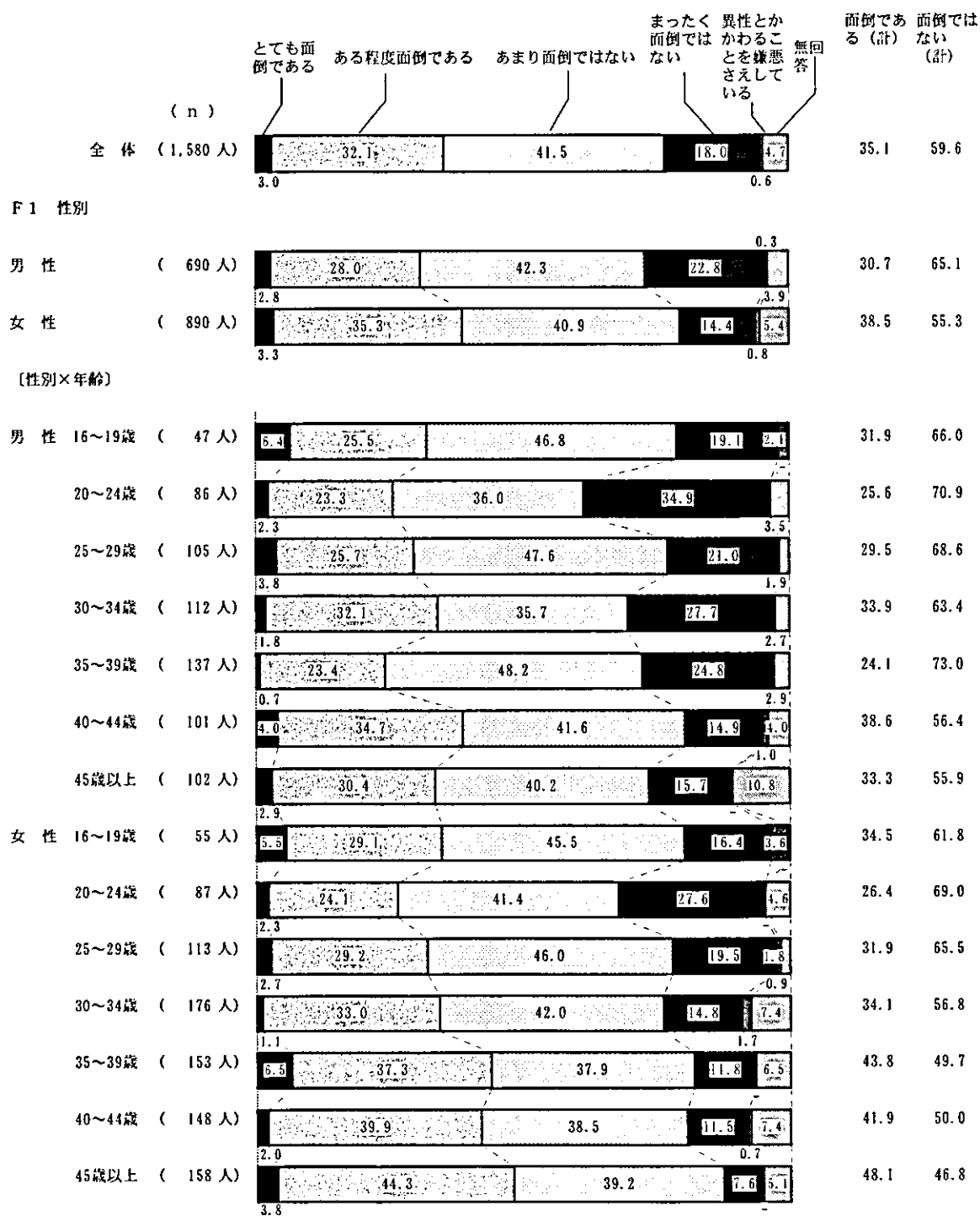


実際に異性と関わることへの意識を聞いたところ、「とても面倒である」という者は 3.0%にとどまり、「ある程度面倒である」(32.1%)という者を合わせても異性と関わるのが『面倒である』という者は3割台で、『面倒ではない』と感じている者が6割を占める。

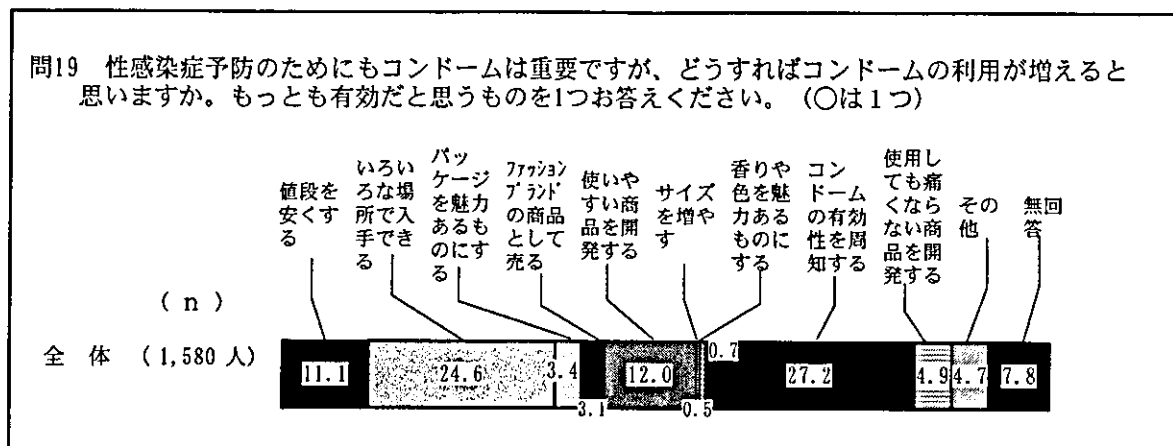
性別にみると(図3-4-1)、「ある程度面倒である」(男性 28.0%、女性 35.3%)という者は男性より女性に多く、女性では4割程度が『面倒である』と感じている。一方、男性では「まったく面倒ではない」(同 22.8%、14.4%)という者が2割強で女性より多くなっており、「あまり面倒ではない」(同 42.3%、40.9%)という者を合わせると、3人に2人は『面倒ではない』と感じている。

性・年齢別にみると(図3-4-1)、男女とも若年層ほど『面倒ではない』という者が多くなる傾向があり、男女とも20~24歳の年齢層では7割が『面倒ではない』と答えている。

図3-4-1 異性と関わることの意識（性別、性・年齢別）



## 5 コンドーム利用促進策



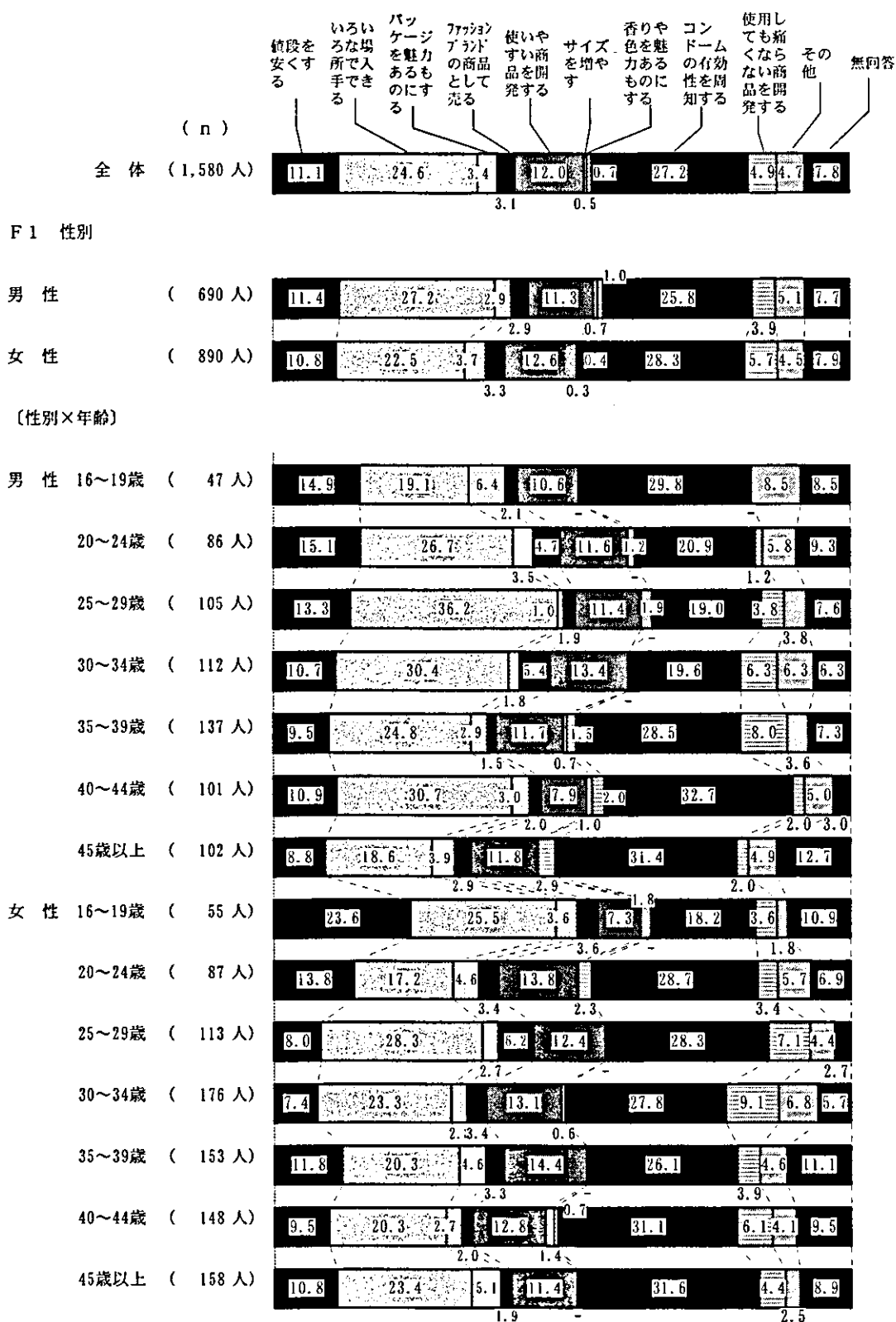
コンドームの利用を増やすために何が有効な手段であると思うかを聞いたところ、「コンドームの有効性を周知する」という者が27.2%、「いろいろな場所で入手できる」という者が24.6%となっており、次いで「使いやすい商品を開発する」(12.0%)と「値段を安くする」(11.1%)という者がともに1割強である。

性別にみても大きな差はみられないが(図3-5-1)、「いろいろな場所で入手できる」(男性27.2%、女性22.5%)と答えた者が女性より男性にやや多くなっている。

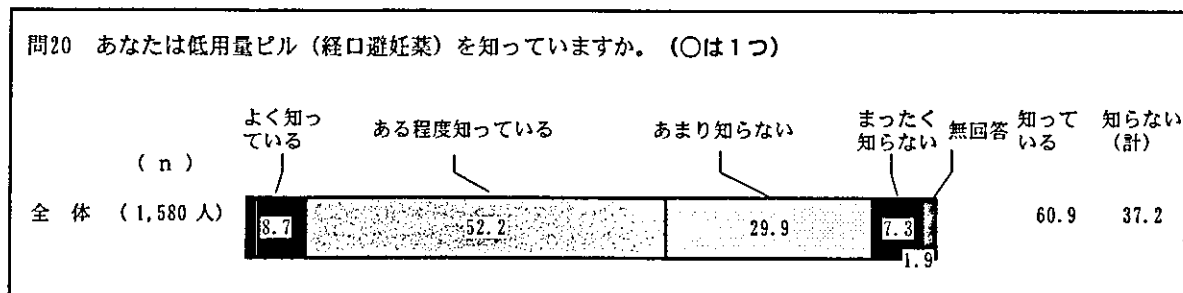
性・年齢別にみると(図3-5-1)、「コンドームの有効性を周知する」と答えた者は男女とも40歳以上の年齢層で3割強である。また、コンドームの利用が増やすために有効な手段として、「いろいろな場所で入手できる」ことであると答えた者は男性の25~29歳で36.2%、「値段を安くする」ことであると答えた者は、該当数は少ないが女性の16~19歳の年齢層で23.6%となっている。



図3-5-1 コンドーム利用促進策（性別、性・年齢別）



## 6 低用量ピル（経口避妊薬）の周知

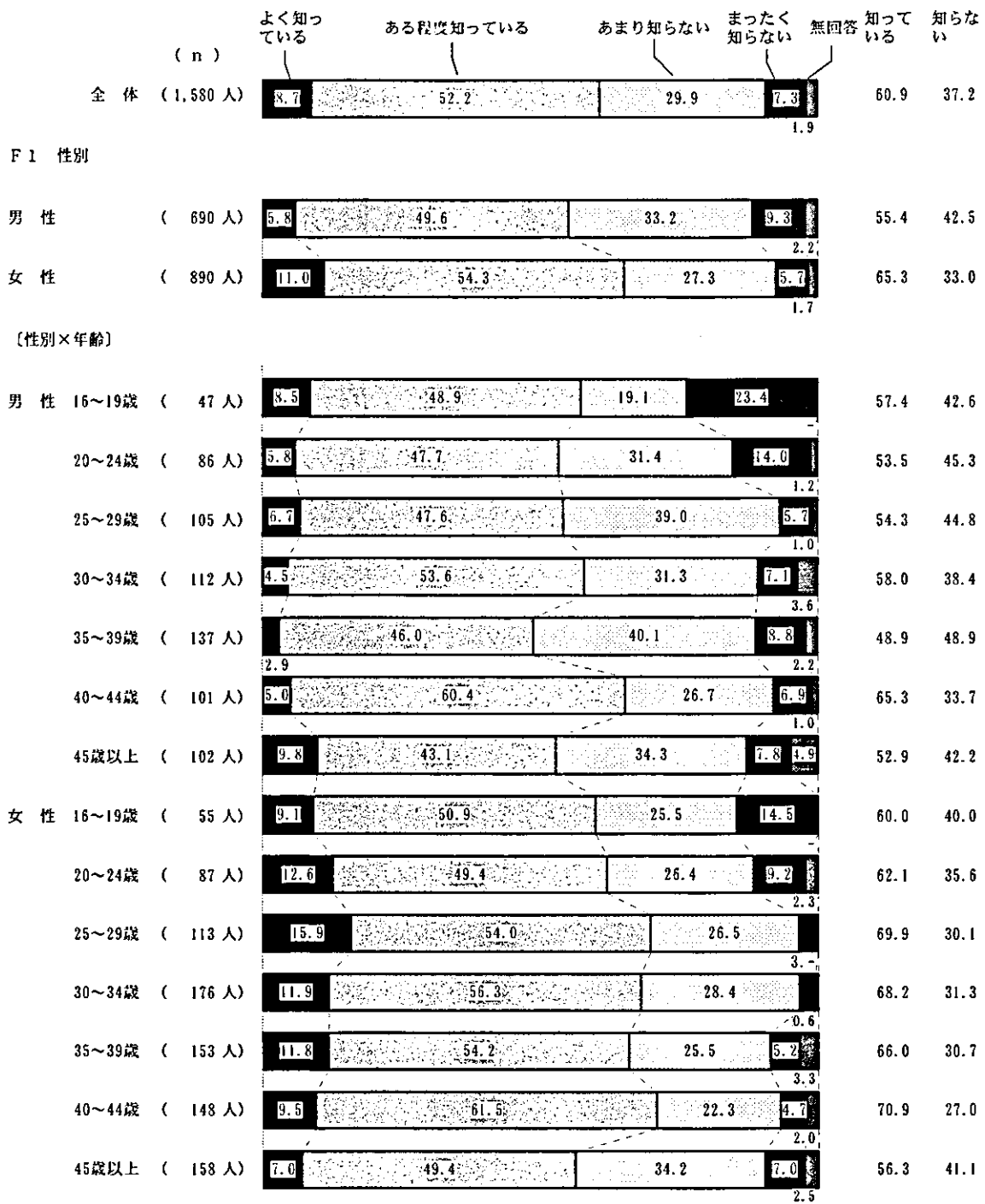


低用量ピル（経口避妊薬）のことを「よく知っている」（8.7%）という者は1割弱で、「ある程度知っている」（52.2%）という者を合わせると、6割は『知っている』と答えている。

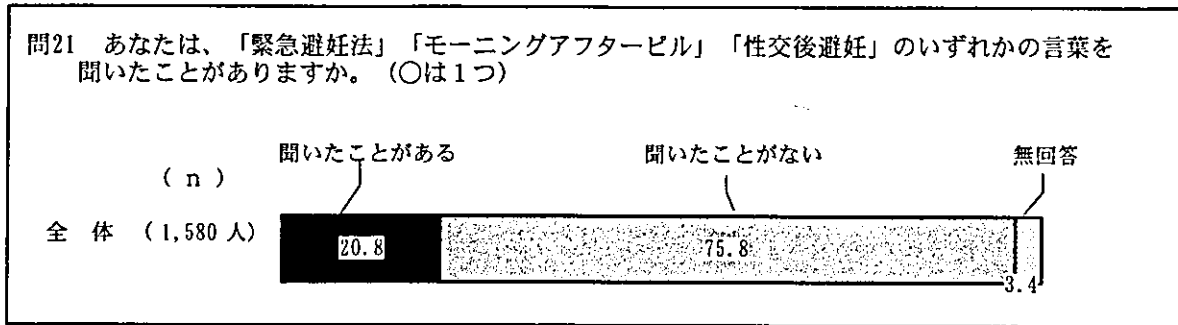
性別にみると（図3-6-1）、低用量ピルのことを「よく知っている」（男性 5.8%、女性 11.0%）という者は男性より女性に多く、「ある程度知っている」者（同 49.6%、54.3%）を合わせると、低用量ピルのことを『知っている』者は男性 55.4%、女性 65.3%である。

性・年齢別にみると（図3-6-1）、低用量ピルのことを「よく知っている」という者は女性 25～29歳の年齢層で 15.9%となっており、25～44歳の年齢層ではほぼ7割が『知っている』と答えている。一方、男性では 40～44歳の年齢層で、低用量ピルのことを『知っている』者が 65.3%と、他の年齢層より多くなっている。

図3-6-1 低用量ピル（経口避妊薬）の周知（性別、性・年齢別）



## 7 「緊急避妊法」「モーニングアフターピル」「性交後避妊」の周知



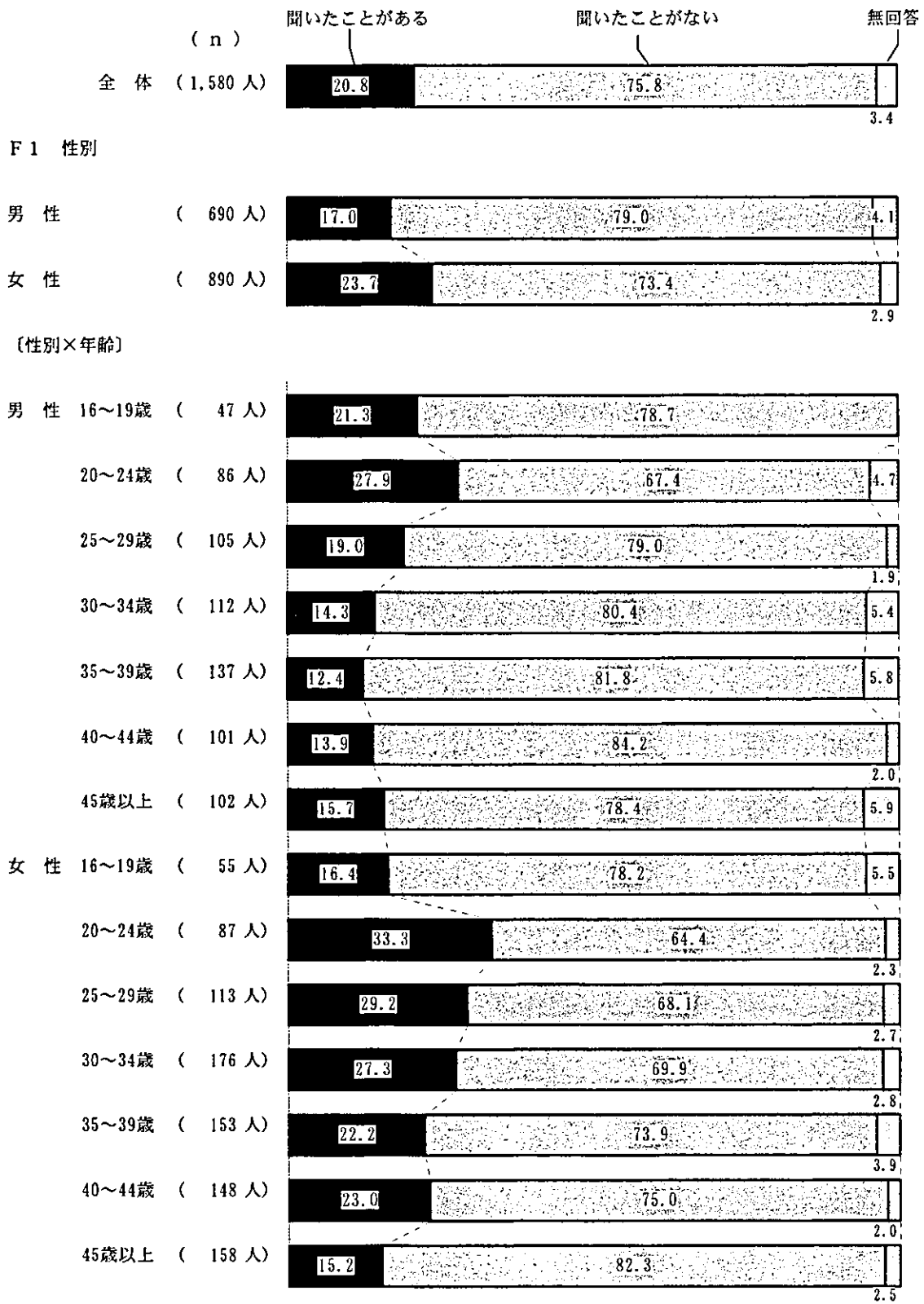
“緊急避妊法” “モーニングアフターピル” “性交後避妊” のいずれかの言葉を「聞いたことがある」という者は20.8%で、4人に3人は「聞いたことがない」(75.8%)と答えている。

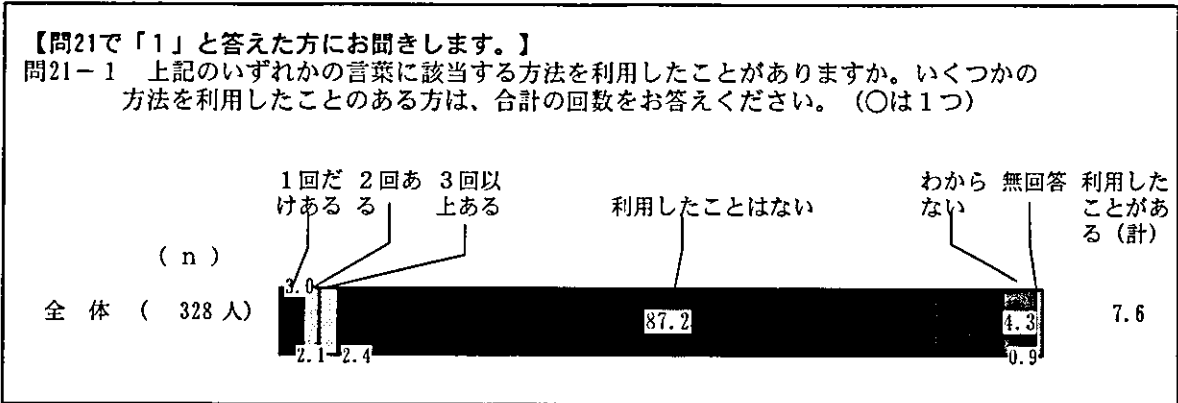
性別にみると(図3-7-1)、“緊急避妊法” “モーニングアフターピル” “性交後避妊” のいずれかの言葉を「聞いたことがある」(男性17.0%、女性23.7%)という者は女性で2割強と、男性より7ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると(図3-7-1)、女性では若年層ほど周知度が高い傾向があり20~24歳(33.3%)で3人に1人の割合となっている。一方、男性では20~24歳の年齢層で27.9%が「聞いたことがある」と答えており、他の年齢層より多くなっている。

図3-7-1 「緊急避妊法」「モーニングアフターピル」「性交後避妊」の周知

(性別、性・年齢別)

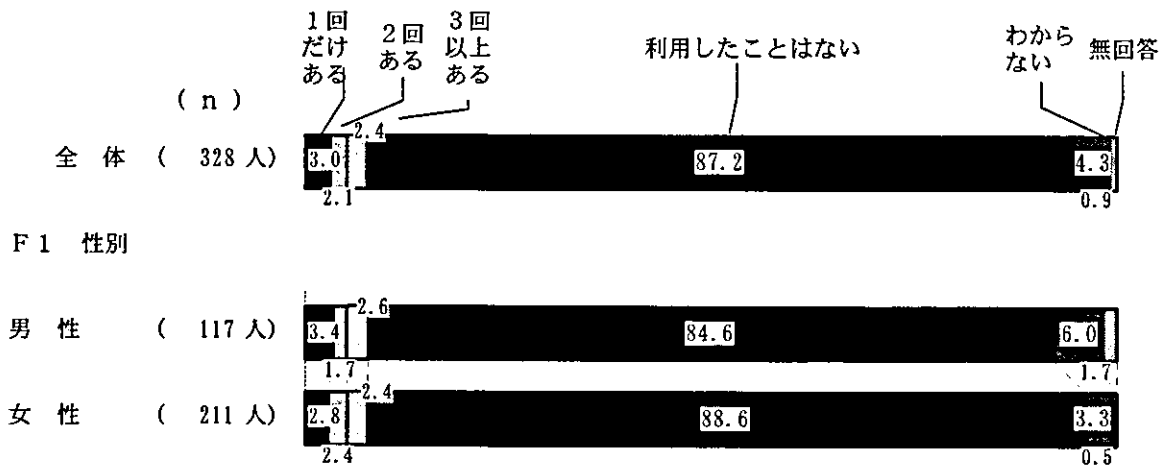




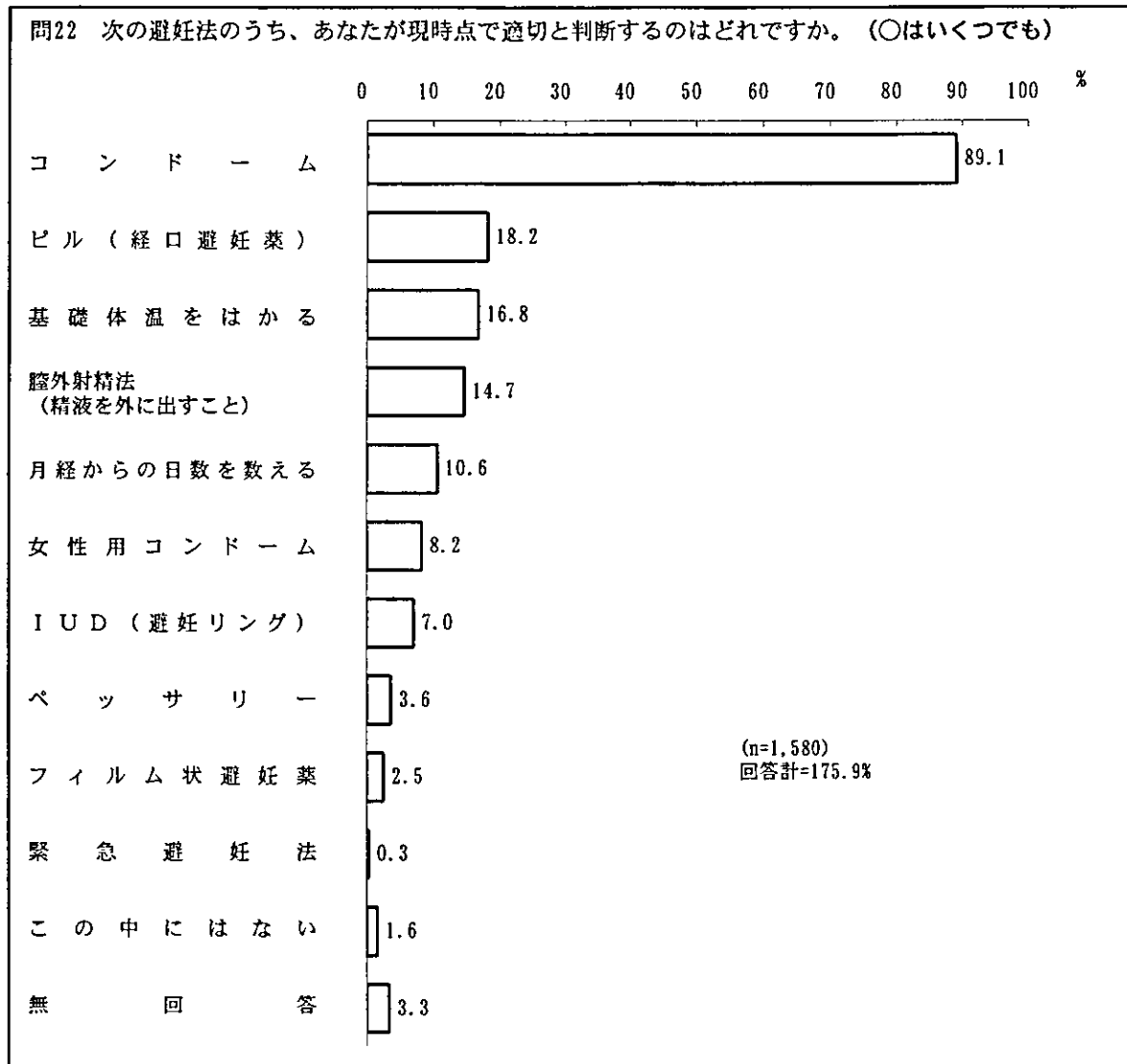
“緊急避妊法” “モーニングアフターピル” “性交後避妊” のいずれかの言葉を聞いたことがあるという者 (328 人) に、いずれかに該当する方法を利用したことがあるかどうかを聞いたところ、「1回だけある」者が 3.0%、「2回ある」者は 2.1%、「3回以上ある」者は 2.4%で、「利用したことはない」 (87.2%) という者が9割近くを占める。

性別にみても大きな差はみられない (図3-7-2)。

図3-7-2 “緊急避妊法” “モーニングアフターピル” “性交後避妊” の利用経験



## 8 現時点で適切と判断する避妊法



現時点で適切と判断する避妊法を全員に聞いたところ、「コンドーム」(89.1%)が9割と際立って多くあげられ、以下「ピル(経口避妊薬)」(18.2%)、「基礎体温をはかる」(16.8%)、「膣外射精法(精液を外に出すこと)」(14.7%)、「月経からの日数を数える」(10.6%)などが1割台で続いている。

性別にみると(表3-8-1)、男女とも「コンドーム」(男性91.6%、女性87.2%)が9割前後で最も多くあげられており、次いで女性では「基礎体温をはかる」(23.4%)と「ピル」(21.5%)がそれぞれ2割強となっている。

性・年齢別にみると(表3-8-1)、「コンドーム」は男性の25~44歳の年齢層で9割以上の者が適切な避妊法としてあげている。また、「膣外射精法」は男性の20~24歳(25.6%)の年齢層でほぼ4人に1人があげている。

一方、女性では「ピル」を25~29歳の年齢層で34.5%があげている。また、「基礎体温をはかる」は20~24歳(27.6%)、35~39歳(26.1%)、45歳以上(25.3%)で、「月経からの日数を数える」は20~24歳(18.4%)で、「女性用コンドーム」は該当数は少ないが16~19歳(16.4%)と20~24歳(14.9%)で、他の年齢層よりそれぞれ多くなっている。

表3-8-1 現時点で適切と判断する避妊法（性別、性・年齢別）

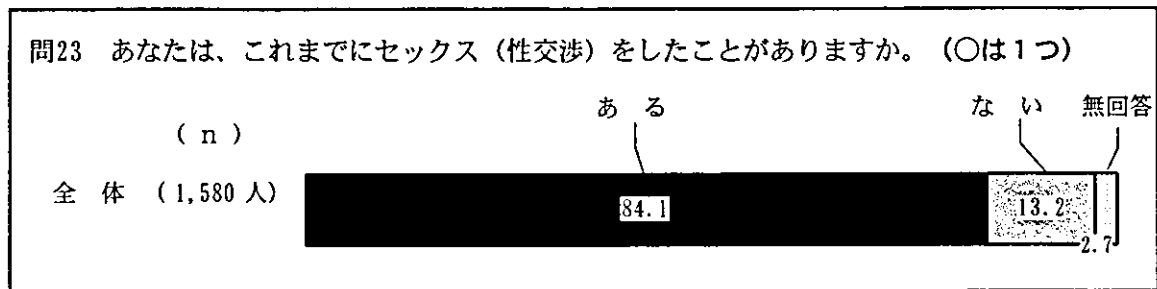
	(n)	コンドーム	ピル(経口避妊薬)	基礎体温をはかる	陰外射精法(精液を外に出すこと)	月経からの日数を数える	女性用コンドーム	IUD(避妊リング)	ベッサリー
全体	1,580	89.1	18.2	16.8	14.7	10.6	8.2	7.0	3.6
F1 性別									
男性	690	91.6	14.1	8.3	16.2	8.0	7.7	3.8	3.5
女性	890	87.2	21.5	23.4	13.6	12.6	8.7	9.4	3.7
【性別×年齢】									
男性 16~19歳	47	76.6	14.9	14.9	12.8	14.9	10.6	4.3	4.3
20~24歳	86	90.7	14.0	15.1	25.6	10.5	8.1	2.3	4.7
25~29歳	105	96.2	16.2	5.7	13.3	6.7	7.6	4.8	5.7
30~34歳	112	95.5	15.2	3.6	17.9	6.3	9.8	4.5	2.7
35~39歳	137	94.2	11.7	9.5	14.6	10.9	8.0	1.5	1.5
40~44歳	101	93.1	11.9	7.9	17.8	6.9	6.9	5.0	5.0
45歳以上	102	85.3	15.7	5.9	11.8	2.9	3.9	4.9	2.0
女性 16~19歳	55	83.6	25.5	21.8	7.3	10.9	16.4	3.6	3.6
20~24歳	87	82.8	26.4	27.6	17.2	18.4	14.9	3.4	4.6
25~29歳	113	91.2	34.5	21.2	12.4	10.6	8.0	10.6	4.4
30~34歳	176	90.3	22.7	22.7	11.4	9.7	8.0	7.4	3.4
35~39歳	153	86.3	15.7	26.1	11.8	13.1	5.2	11.8	5.2
40~44歳	148	88.5	16.9	18.9	14.2	13.5	4.7	11.5	2.0
45歳以上	158	84.2	16.5	25.3	18.4	13.3	10.8	12.0	3.2

	フィルム状避妊薬	緊急避妊法	この中にはない	無回答	回答計
全体	2.5	0.3	1.6	3.3	175.9
F1 性別					
男性	3.0	0.1	1.9	3.3	161.4
女性	2.1	0.3	1.3	3.3	187.1
【性別×年齢】					
男性 16~19歳	4.3	-	10.6	6.4	174.5
20~24歳	1.2	-	4.7	1.2	177.9
25~29歳	5.7	1.0	1.0	1.9	165.7
30~34歳	3.6	-	-	1.8	160.7
35~39歳	4.4	-	0.7	1.5	158.4
40~44歳	2.0	-	1.0	5.0	162.4
45歳以上	-	-	1.0	7.8	141.2
女性 16~19歳	-	-	-	3.6	176.4
20~24歳	1.1	-	6.9	2.3	205.7
25~29歳	1.8	0.9	-	1.8	197.3
30~34歳	2.8	-	-	2.3	180.7
35~39歳	3.3	0.7	0.7	5.2	185.0
40~44歳	2.0	-	2.7	3.4	178.4
45歳以上	1.9	0.6	0.6	3.8	190.5



## 第4章 自分自身の性行動

### 1 これまでのセックス（性交渉）経験の有無

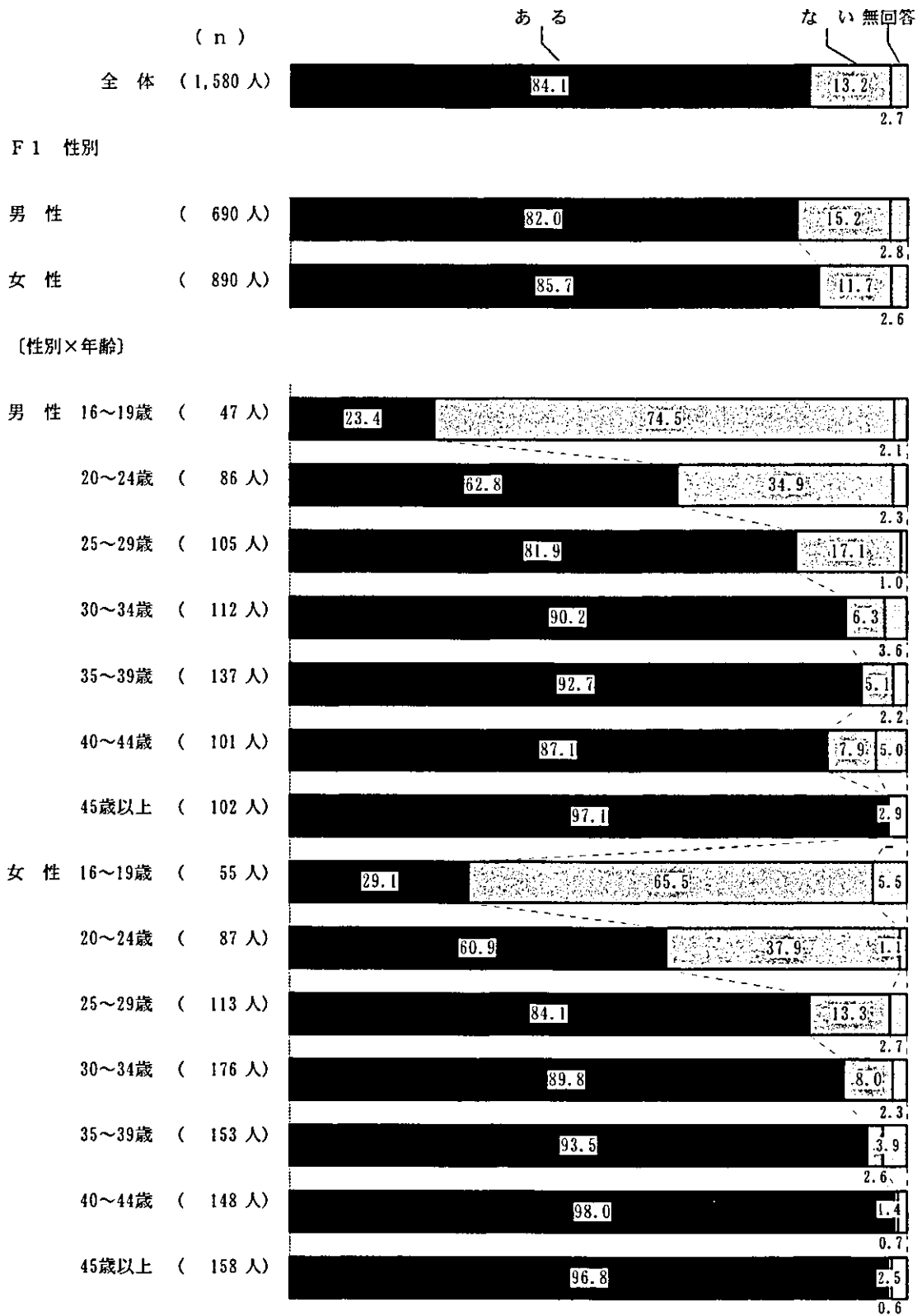


これまでのセックス（性交渉）経験を聞いたところ、セックスをしたことが「ある」という者は84.1%である。

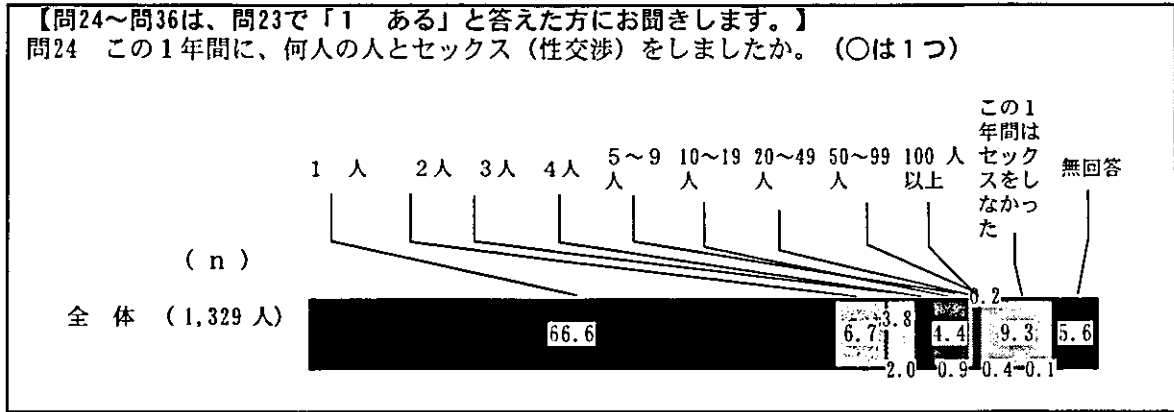
性別にみると（図4-1-1）、セックスをしたことが「ある」（男性82.0%、女性85.7%）という者は、男性より女性にやや多くなっている。

性・年齢別にみると（図4-1-1）、男女とも20～24歳ではセックスをしたことが「ある」（男性62.8%、女性60.9%）という者は6割程度であるが、25歳以上になると8割を上回る。

図4-1-1 これまでのセックス（性交渉）経験の有無（性別、性・年齢別）



## 2 この1年間にセックス（性交渉）をした相手の人数



これまでにセックス（性交渉）をしたことのある者（1,329人）に、この1年間にセックスをした相手の人数を聞いたところ、「1人」という者が66.6%で最も多く、次いで「2人」と答えた者が6.7%である。

「この1年間は、セックス（性交渉）をしなかった」という者は9.3%である。

性別にみると（図4-2-1）、この1年間にセックスしたのは「1人」とであるという者は女性では72.0%であるのに対して、男性では59.4%で、「2人」（9.9%）と答えた者が1割いる。

性・年齢別にみると（図4-2-1）、該当数は少ないが男性の20～24歳でこの1年間のセックスの相手は「2人」（18.5%）であるという者が2割弱と、他の性・年齢層より多くなっている。

図4-2-1 この1年間にセックス（性交渉）をした相手の人数（性別、性・年齢別）

